



# Tight-Tuneブリッジ/テールピース

Tight-Tuneブリッジは、ブリッジの各可動部分をロックすることにより、無駄な振動を抑え、効率の良いサステインを得られるブリッジです。ブリッジにはより強固にブリッジとボディを固定するためのスタッド・ロック機能を備えています。また、テールピースにはボールエンドが外れないように保持するボールエンド・ロック機能を装備しました。

## 弦高調整

ブリッジ本体左右のロック・ナット (Fig. 2 D) を緩め、六角レンチ (3mm) でスタッド・ボルト (Fig. 2 E) を回して、ブリッジ全体の高さを調整します (各弦の調整は行えません)。調整が完了した後、ロック・ナットを締めてください。

## スタッド・ロック機能

弦高調整を終えた後、六角レンチ (2mm) でスタッドボルト内部にあるスタッド・ロック・ボルト (Fig. 1 B) を時計回りに回します。スタッド・ロック・ボルトがアンカーナット (Fig. 1 C) に接触し、それ以上回らなくなるまで締め込んでください。

### ⚠️ ご注意

弦高の調整を行うときは、必ずスタッド・ロック・ボルト (Fig. 1 B) を六角レンチ (2mm) で反時計回りに十分に緩めてから行ってください。破損の原因になります。

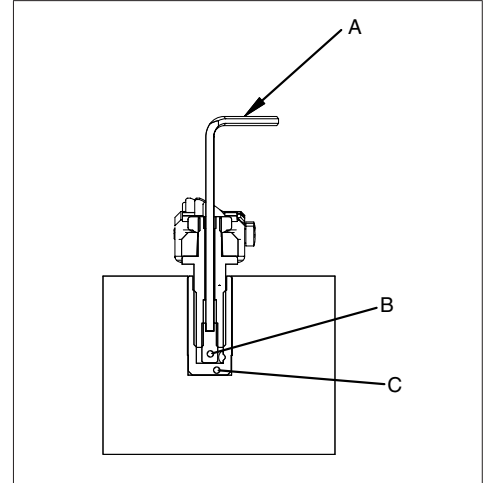


Fig. 1

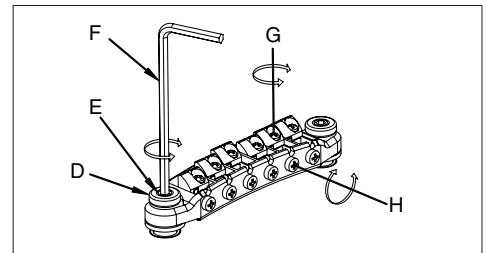


Fig. 2

## イントネーション調整

調整するサドルのサドル・ロック・ボルト (Fig. 2 G) をプラスドライバーで緩め、イントネーション調整スクリュー (Fig. 2 H) をプラスドライバーで回してサドル位置を調整し、チューニングを行ってからイントネーションを確認します。正しいイントネーションが得られるまで同じ調整を繰り返した後、サドル・ロック・ボルトを締めてください。

### ⚠️ ご注意

イントネーション調整ボルト (Fig. 2 H) が緩い場合、共振を起こすことがあります。その場合はサドルが動かない程度にイントネーション調整ボルトを軽く締めてください。

## 弦交換

弦のボールエンドをテールピースの溝に、Fig. 3のJの向きで取り付けます。ボールエンド・ロック機能により、ボールエンドが保持されます。弦を外す場合は、Fig. 3のKの方向に弦を引っ張ると簡単に取り外すことができます。

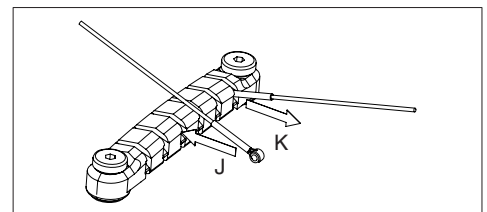


Fig. 3